

# 令和2年度 東京都自立支援協議会セミナー 実施報告

## 3 プログラム構成のねらい

(実行委員による検討より)

### 1 テーマ設定理由

- 「当事者の想い・語りを聴く」ことが特別なことではないあり方になってほしい。
- 今年度の協議事項である「当事者の多様な声を聴くための具体的な仕組みをつくる」に直結したものをテーマに設定すると良いのではないか。
- 折からの情勢や第6期の活動経緯を踏まえ、障害当事者の生きにくさを傾聴し、社会参加・社会活動のために必要な情報やコミュニケーションにおける合理的配慮のあり方を取りあげることで、協議会活動の活性化につなげたい。
- 当事者の方々の率直な声（想い）を伺い、そこから学ぶことを重視したい。一方で、このセミナーを、今後の各地域における取組に具体的に活かしていけるような進行にするためには、当事者の方をお招きすることとあわせて、参加者が参考にできるような好事例をお話いただく行政関係者の方、協議会委員の方などに登壇いただいても良いのではないか。
- 地域社会における当事者の方の声をしっかり傾聴しながら、また、各地域での取組の経過（成果）にも学びながら、協議会はじめ既存の仕組み・システムの活用・活性化（改革・開発）を行うことを通じて、共生社会の実現を目指すというイメージでどうか。

### 2 開催方法

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、オンライン配信とすることは賛成だが、オンライン配信のみというよりは、感染予防を考慮した人数等による会場とオンライン配信とを並行して開催できると良い。

## 4 参加者アンケート

回答数：125（会場参加 82名、動画視聴 43名）

### 第1部 基調講演

大変参考になった	参考になった	普通	あまり参考にならなかった	全く参考にならなかった	無回答
78 (62.4%)	46 (36.8%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

#### <自由意見>

- 意思決定支援についての分析がわかりやすかった。情報提供のあり方について、今までの自分のやってきたことを振り返ることができた。
- 「話せる場を作る」ということが特に心に残った。自立支援協議会でも、日頃の中でも重要になると思う。
- 意思決定支援について情報提供とそれを理解し統合しなくてはならないことを、私たちは無意識に行っていることを改めて理解しました。また、想いも変化すること、それにとことん付き合える支援者でありたいと思いました。

### 第2部 パネルディスカッション

大変参考になった	参考になった	普通	あまり参考にならなかった	全く参考にならなかった	無回答
84 (67.2%)	39 (31.2%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)

#### <自由意見>

- 当事者が語る言葉だからこそその力強さと説得力の強さをひしひしと感じた。今後はますます当事者が語る機会と場が増えてほしいと思った。
- 障害ゆえに自分で生死を選択しなければならない現実は、衝撃だった。誰しも、どう生きていくかを自由に選択できる制度や環境にあるべきだと思います。
- 合理的配慮は画一的なものではなく、人との関係で作っていくものだった。その橋渡しとしてのピアサポートに重要な役割があると感じた。